

2005年 第16回 CAOS21に参加して

高田眼科
高田真智子



今回も3日間ともよいテーマで、大変充実した実り多いCAOS21の会でした。

世話人代表の禰津先生、並びに(株)ジャメックスの社長、細川さんをはじめ、社員の皆様大変お世話になりありがとうございました。

今回、自分にとって一番の収穫は第1日目、南青山アイクリニック横浜で荒井先生の現段階でのPhakic IOLの手術を全過程ライブで見られたことで、非常に嬉しく学ぶことが多かったです。

横浜のQueen's Eye Clinicでは、限られたビル診療でスペースをいかに有効に使うかということ、大変参考になりました。また、荒井先生がPhakic IOLの手技が確立していないとおっしゃりながらも白内障ボリュームサージャン達に公開し、もっとこの手術をより良くしたほうがいいとCAOSを引き受けてくださったことに非常に感謝しております。

二次会での本音も今まで何回かこういう席に同席させていただきましたが、なかなか日ごろ聞けない話を聞かせてもらえ、とてもよかったです。

2日目の神奈川クリニック眼科は、カルチャーショック！！でした。

新宿副都心の一角、超高層階ワンフロアを全部借り切るスケールの大きさに衝撃を受け、洗練された設備・医療機器・アメニティは完成されており、資本力の強さでよそに絶対追随を許さない豪華さです。

スタッフの教育もきちんとされていて大企業の組織以上です。しかも医者がかんこやかで優しく手術の腕が抜群！とくれば... 今後医療がどんどん自由診療化していくのなら、こういうクリニックが勝ち残るのだろうと本当に脅威を感じましたし、いったい個人の医者の生き方はどうなっていくのだろうと不安にもなりました。

北澤先生の医師としての手術・診療の取り組み方、患者様への対応、真摯なものを感じ本当に非のつけどころのない先生でした。完璧ですばらしいの一言です。手術がうまいということであらぬべれることがまったくなく、自分も手術していただくならこんな先生と思ってしまいました。

LASIKには詳しくはありませんが、最新の治療についてかなり正しい知識が得られたと思います。もう少し施設をビデオでくまなく撮りたかったのですが、そこは企業秘密、ある程度はやむをえないのでしょうかね。

懇親会で北澤先生が患者様のために中座されたのに、また戻ってこられたことに大変良いお人柄を感じましたし、北澤先生の中座の間、眼科開業医の危機感！と皆様の盛り上がりも面白かったです。

3日目 移動に多くの時間を取られ、OPE 症例が2件しか見られなかったことが大変残念でした。

いずれは BMP の方向に行くにせよ、今回のライブを見た限りでは、現在の CoaxialPhacoの方が技術的には優れているように思いました。少なくともあと数ヶ月は傍観者でいたほうが、より手技が安定して痛い思いをしなくてすむかな？と感じました。

症例検討会での大内先生のお話は理論的でかなりわかりやすかったです。但し、すぐに取り入れるには時間がかかる、learning curve がある、トラブル発生の可能性があるので、まだ未完成の部分があることがわかりました。

BMP に関して少し NEGATIVE な態度で懇親会に臨みましたが、宮久保先生の経験談を聞いたとき初めて少し始めてみようかなという思いが過ぎりました。

細川社長がおっしゃるように新しい手術は若い人が担うものであり、そういう DR にはまだ経済的基盤が十分でないこともわかりますが、本当にその手技を広く世間に広めようと思うのなら、少々お金をかけてでも最良の器具を用いて簡便に楽に安全に手術できることを見せてもらいたいと思いました。

検討会でも大内先生、肘黒先生、両先生の意見の食い違いが多く、ますますこちらを戸惑わせる様な感もありました。

今回、新しい眼内レンズ、ThinOptx Lens を実際に 1.7mm の極小切開で挿入するところをライブで見られたことは大変意義深く良かったです。

また道中、ずっと安藤展代先生とご一緒にさせていただいて本当に楽しく勉強になりました。

有馬温泉では安藤先生、藤原りつ子先生と3人で露天風呂から美しい山々を眺めながら眼科の現状と将来について、いろいろお話できたこと、感慨深い思い出です。

文頭にも書きましたように今回の CAOS21 の会も大変得るものがあり、これから色々と自分のクリニックの充実に役立てたいと思います。

また、来年もよろしく願いいたします。本当にありがとうございました。

来年のテーマの希望ですが、美容系統の話、涙道内視鏡、経営の話、そしてやはり白内障関連は1つ入れていただきたいです。